

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価について【平成30年10・11・12月分】

平成30年10・11・12月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機 第5583号）第6の補填金単価（確定値）については、下記のとおりです。

なお、平成30年10月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則10の精算払の額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種 (地域算定)
平成30年10月確定値 (概算払)	5,700円 1,900円
平成30年11月確定値 (概算払)	— 円 — 円
平成30年12月確定値	— 円

※12月については29日販売分まで当事業で対応する。

注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注2：平成26年度から、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。

注3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。

注4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5：平成26年度から、消費税抜きで算定しています。

注6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

(<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>)

連絡先

価格対策部 第1課

担当：函師、田中

電話：0985-41-9305

(参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成30年12月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,354,775
生産コスト (B)	1,283,647
差額 (C) = (A) - (B)	71,128
補填金単価 (D) = C × 0.9	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,354,775
主産物価格 ① = a × b	1,344,656
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,711
枝肉重量 (kg) b	496
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,283,647
物財費 ③	1,184,084
もと畜費	822,871
飼料費	285,110
流通飼料費	283,487
麦類	11,897
とうもろこし	11,691
ふすま	11,312
かす類	7,697
配合飼料	196,352
稲わら	23,418
その他	21,120
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	12,458
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,467
自動車費	7,043
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,259,044
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,293

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成30年10月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,276,824
生産コスト (B)	1,283,185
差額 (C) = (A) - (B)	△ 6,361
補填金単価 (D) = C × 0.9	5,700

粗収益 (A) = ① + ②	1,276,824
主産物価格 ① = a × b	1,266,705
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,559
枝肉重量 (kg) b	495
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,283,185
物財費 ③	1,183,297
もと畜費	822,871
飼料費	284,549
流通飼料費	282,926
麦類	11,687
とうもろこし	11,679
ふすま	11,238
かす類	7,739
配合飼料	195,925
稲わら	23,628
その他	21,030
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	12,264
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,442
自動車費	7,036
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,258,257
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,618

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考3)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成30年11月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,306,663
生産コスト (B)	1,283,463
差額 (C) = (A) - (B)	23,200
補填金単価 (D) = C × 0.9	—
粗収益 (A) = ① + ②	1,306,663
主産物価格 ① = a × b	1,296,544
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,614
枝肉重量 (kg) b	496
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,283,463
物財費 ③	1,183,713
もと畜費	822,871
飼料費	284,837
流通飼料費	283,214
麦類	11,792
とうもろこし	11,679
ふすま	11,275
かす類	7,722
配合飼料	196,138
稲わら	23,511
その他	21,097
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	12,373
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,454
自動車費	7,043
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,258,673
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,480

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考4)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場、名古屋市中央卸売市場、西宮市食肉地方卸売市場、姫路市食肉地方卸売市場、兵庫県加古川食肉地方卸売市場、佐世保市地方卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

ホクレン十勝地区家畜市場、平戸口中央家畜市場、球磨家畜市場、熊本県家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、南那珂地域家畜市場、都城地域家畜市場、小林地域家畜市場、児湯地域家畜市場、延岡家畜市場、高千穂家畜市場、宮崎中央農業協同組合家畜市場、薩摩中央家畜市場、始良中央家畜市場、曾於中央家畜市場、肝属中央家畜市場、種子島家畜市場、徳之島中央家畜市場、与論家畜市場、南部家畜市場、宮古家畜市場、八重山家畜市場、今帰仁村家畜市場、久米島家畜市場、多良間家畜市場